

IV 文化・スポーツ

基本施策 14 スポーツ

◆現況と課題

- 小牧市では、平成 22 (2010) 年 10 月に策定した「小牧市スポーツ振興計画 (目標年度：平成 31 (2019) 年度)」のもと、市民一人ひとりが心身ともに健やかな生活が送れるよう、スポーツ・レクリエーションを通じ、市民の健康保持・増進を図ることを目指しています。【棚卸シート「基本施策を取り巻く状況」】
- 市内の主要なスポーツ施設の利用者数は、平成 10 (1998) 年度の約 49 万人から平成 23 (2011) 年度の約 110 万人へと大きく増加していますが、その内訳をみると、南スポーツセンター水泳プールや武道館、パークアリーナ小牧では利用者が急増している一方、利用者が伸び悩んでいる施設も見受けられます。【同上】
- スポーツ・レクリエーション活動を通じた市民の健康保持・増進を図るため、子ども・成人・高齢者などのライフステージや、肥満予防・ダイエット・転倒防止などの目的に応じたスポーツプログラムの提供と普及に努める必要があります。【棚卸シート「今後の主要課題」】
- 今後、既存のスポーツ施設では、経年による老朽化の進行に伴い、施設の機能低下や維持管理にかかる経費の増大が懸念されます。このため、各施設の利用実態や老朽化の度合いなどを踏まえつつ、計画的な整備を推進する必要があります。【展開方向②を踏まえ追記】

◆基本施策の目的及び体系

健康づくりの一環として、だれもが「いつでも」「どこでも」「いつまでも」スポーツを楽しむことができるよう、スポーツを生活の中に取り入れる環境（仕組）を整えます。

基本施策 14 スポーツ

展開方向 1 スポーツ活動の機会を充実させる

展開方向 2 スポーツ施設を計画的に整備する

◆基本施策の進捗状況を測定するための指標

指標名	単位	指標の説明	実績値	目標値
			H24 年度	H30 年度
市民（成人）の週 1 回のスポーツ実施率	%	「週に 1 度は運動をしている」と回答した市民の割合（アンケート調査）	●	●
体育施設の年間利用者数	人	温水プール、勤労センターテニスコート・体育館、まなび創造館スポーツセンター、スポーツ公園運動施設、総合運動場、大輪体育館、さかき運動場、南スポーツセンター武道館・グランド・水泳プールの年間利用者数	●	●

## ◆基本施策の展開方向1：スポーツ活動の機会を充実させる

## 【目的】

○それぞれの年齢や体力、興味・目的などに応じて、より多くの市民がスポーツに親しむことができる環境を整えます。

## 【手段】

①より多くの市民がスポーツを「する」「みる」「ささえる」活動に取り組める多様な参加機会を確保します。

## 【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	単位	指標の説明	実績値	目標値
			H24年度	H30年度
各種スポーツ教室・講座参加者満足度	%	「受講した教室・講座に満足している」と回答した参加者の割合（アンケート調査）	●	●
市民スポーツ大会等への参加者数	人	同左	●	●
各種スポーツ教室・講座への参加者数	人	同左	●	●
（公財）小牧市体育協会の加入者数	人	同左	●	●
スポーツ振興会を知っている市民の割合	%	「スポーツ振興会を知っている」と回答した市民の割合	●	●

## ◆基本施策の展開方向2：スポーツ施設を計画的に整備する

## 【目的】

○市民がスポーツ施設を安全に利用できる環境を整えます。

## 【手段】

①既存スポーツ施設の利用実態や老朽化の状況を踏まえた計画的な整備を推進します。

## 【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	単位	指標の説明	実績値	目標値
			H24年度	H30年度
公共のスポーツ施設の利用者満足度	%	対象施設：スポーツ公園運動施設、総合運動場、大輪体育館、さかき運動場、南スポーツセンター、温水プール	●	●

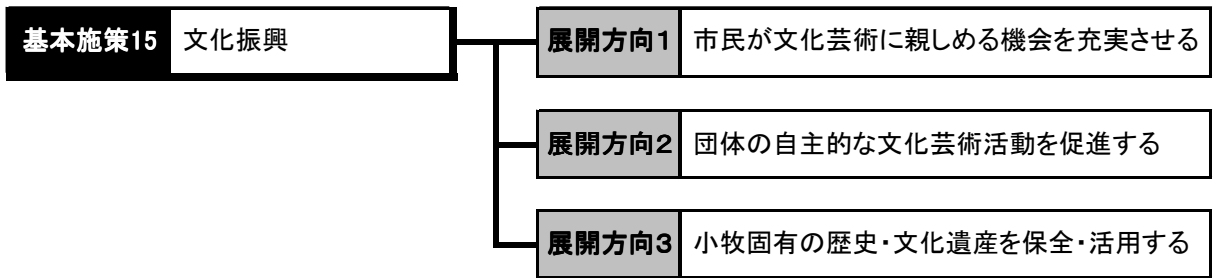
**基本施策 15 文化振興**

◆現況と課題

- 文化や芸術は、人々の暮らしに楽しさや感動、安らぎをもたらすとともに、創造性や様々な文化に対する理解を通じて豊かな心を育んでいます。また、地域の歴史や伝統を尊び、学ぶことは、地域への誇りや愛着の醸成につながり、今後ますます国際化が進展すると見込まれる中で、その取組の重要性が高まっています。【基礎調査報告書PⅢ-53】
- 小牧市では、平成 23（2011）年度に「第2次小牧市文化振興ビジョン 2011-2020」を策定し、「市民とともにつくる文化のまち こまき」を基本目標に掲げ、市民と行政の協働による文化振興に取り組んでいます。【同上】
- 協働のパートナーとして、市内には多種多様な分野にわたる文化芸術団体が活動していますが、それぞれの団体では、会員の固定化や高齢化が進展していることから、文化振興に対する幅広い世代の関心をいかに高め、具体的な活動への参加を促進するのが課題となっています。【棚卸シート「今後のまちづくりに向けた主要課題」】

◆基本施策の目的及び体系

幅広い世代が自主的に文化芸術活動に取り組める環境を整えるとともに、小牧固有の歴史や文化、伝統にふれあう機会を充実させます。



◆基本施策の進捗状況を測定するための指標

指標名	単位	指標の説明	実績値	目標値
			H24 年度	H30 年度
日頃から文化芸術に親しんでいる市民の割合	%	「日頃から文化芸術に親しんでいる」と回答した市民の割合（アンケート調査）	●	●
小牧の歴史・文化に興味・関心を持っている市民の割合	%	「小牧の歴史・文化に興味や関心を持っている」と回答した市民の割合（アンケート調査）	●	●

◆基本施策の展開方向1：市民が文化芸術に親しめる機会を充実させる

【目的】

○市民がより身近に優れた文化芸術に親しめる機会を確保します。

【手段】

①舞台芸術祭や音楽祭、演奏会、美術展、講座の開催などを通じ、多様な文化芸術を鑑賞する機会や活動成果の発表機会を充実させます。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	単位	指標の説明	実績値	目標値
			H24年度	H30年度
市主催の文化芸術イベントへの来場者数	人	小牧市が主催する文化芸術イベントへの来場者数	●	●
来場者の満足度	%	「文化芸術イベントに満足している」と回答した来場者の割合(アンケート調査)	●	●

◆基本施策の展開方向2：団体の自主的な文化芸術活動を促進する

【目的】

○子どもから高齢者まで幅広い世代の市民による主体的な文化芸術活動を促進します。

【手段】

- ①市内に拠点を置く文化芸術団体の活動を支援します。
- ②子どもの頃から伝統文化や文化芸術活動を体験できる機会を確保します。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	単位	指標の説明	実績値	目標値
			H24年度	H30年度
支援を行った文化芸術団体の事業参加者数	人	同左	●	●
子ども又は親子で参加する文化体験教室等の参加者数	人	文化体験教室等に参加する子ども及び保護者の数	●	●

◆基本施策の展開方向3：小牧固有の歴史・文化遺産を保全・活用する

【目的】

○市民共有の財産である小牧固有の歴史・文化遺産を将来にわたって継承します。

【手段】

- ①小牧山をはじめとする市固有の歴史・文化遺産を将来にわたって継承するため、適切な保護・保存・管理に努めます。
- ②展示会や講座、講演会の開催などを通じ、より多くの人々が小牧固有の歴史・文化遺産にふれ

られるようにします。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	単位	指標の説明	実績値	目標値
			H24年度	H30年度
指定文化財の数	件	国、県及び市指定文化財の数	●	●
小牧市のシンボルが小牧山であると思う市民の割合	%	「小牧山は小牧市のシンボルと思う」と回答した市民の割合(アンケート調査)	●	●
歴史・文化講座の参加者数	人	同左	●	●

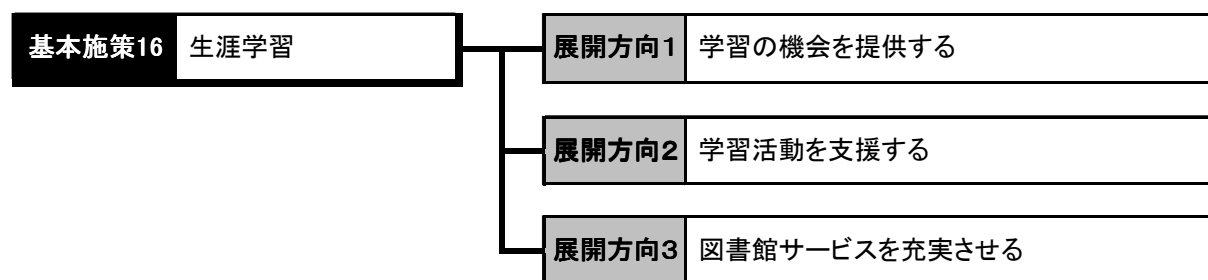
## 基本施策 16 生涯学習

### ◆現況と課題

- 災害時の助け合いや要援護者の見守りなど、全国的に様々な面で地域を取り巻く課題が複雑化している中、生涯学習に期待される役割も変化しており、従来のように個人の生きがづくりだけではなく、人々が生涯学習で得た成果を地域の教育力の向上やより良い地域づくりに活かすことが求められています。【棚卸シート「基本施策を取り巻く状況」】
- 現在、小牧市では、平成 25（2013）年 3 月に策定した「第 3 次小牧市生涯学習推進計画（目標年度：平成 31（2019）年度）」のもと、「であい、まなびあう：学びの機会と環境の整備」「いかす：学びの成果が社会に還元される仕組みづくり」「つなげる：生涯学習活動の輪の拡大と地域力向上」の 3 本柱とする事業を展開し、学びの好循環による生涯学習のまちづくりに取り組んでいます。【棚卸シート「基本施策を取り巻く状況」】
- 同計画の策定に際して実施した市民意識調査によると、生涯学習に関心を持つ市民の割合は約 5 割と高いものの、実際に活動を行っている市民の割合は約 3 割にとどまっています。このような実態を踏まえ、より多くの市民が活動に取り組めるようにするためには、様々な機会を活かした活動のきっかけづくりや、生涯学習に関する情報提供及び相談体制などを強化する必要があります。

### ◆基本施策の目的及び体系

市民一人ひとりが生涯にわたって様々な学習活動に取り組み、その成果をより良い地域社会づくりに活かすことで、地域力の向上につなげます。



◆基本施策の進捗状況を測定するための指標

指標名	単位	指標の説明	実績値	目標値
			H24 年度	H30 年度
生涯学習活動に取り組んでいる市民の割合	%	「この一年間に生涯学習に関する活動を行っている」と回答した市民の割合（アンケート調査）	●	●
生涯学習活動による成果を地域社会に活かしている市民の割合	%	「生涯学習活動に関する活動で身につけた知識や技能をボランティア活動や地域や社会の活動に活かしている」と回答した市民の割合（アンケート調査）	●	●
市民の図書館に対する満足度	%	「小牧市立図書館に満足している」と回答した市民の割合（アンケート調査）	●	●

◆基本施策の展開方向 1：学習の機会を提供する

【目的】

○日常的に何らかの生涯学習活動に取り組んでいる市民を増やします。

【手段】

①年代やニーズを踏まえながら、より多くの市民が生涯学習活動に参加する機会を提供します。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	単位	指標の説明	実績値	目標値
			H24 年度	H30 年度
市民講座が開かれていることを知っている市民の割合	%	「市民講座が開かれていることを知っている」と回答した市民の割合（アンケート調査）	●	●
1年以内に市民講座を受講したことがある市民の割合	%	「1年以内に市民講座を受講したことがある」と回答した市民の割合（アンケート調査）	●	●
市民講座を受講して、社会貢献活動をしてみたいと思った市民の割合	%	「市民講座を受講して、社会貢献活動をしてみたいと思った」と回答した市民の割合（アンケート調査）	●	●

◆基本施策の展開方向 2：学習活動を支援する

【目的】

○学習活動に必要な情報を得やすくします。

○より良い地域社会づくりに向けた市民主体の地域活動を支援します。

○安全で快適な学習活動の場を確保します。

【手段】

- ①学習を始めたい時や学んだ成果を活かしたい時など、様々な場面に応じた適切な情報発信や相談体制を充実させます。
- ②学んだ経験や成果を様々な形で地域社会に活かすことができる仕組みを充実させます。
- ③既存の生涯学習施設の計画的な整備を推進します。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	単位	指標の説明	実績値	目標値
			H24年度	H30年度
こまなびサロンを知っている市民の割合	%	「こまなびサロンを知っている」と回答した市民の割合（アンケート調査）	●	●
生涯学習に関する相談件数	件	こまなびサロンで受けた相談件数	●	●
社会活動の支援や指導に関わってみたいと思う市民の割合	%	「社会活動の支援や指導に関わってみたい」と回答した市民の割合（アンケート調査）	●	●

◆基本施策の展開方向3：図書館サービスを充実させる

【目的】

- 図書館が生涯学習活動の拠点として、より多くの市民から利用されるようにします。
- 子どもの頃から読書の習慣を身に付け、読書を通じて豊かな心が育まれるよう支援します。

【手段】

- ①図書、雑誌、新聞、視聴覚資料などの多種多様な資料の提供を行います。
- ②新たな図書館の建設に向け、様々な可能性の検討を進めます。
- ③市内各小・中学校へ図書の専門的知識を有する図書館司書の配置を推進します。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	単位	指標の説明	実績値	目標値
			H24年度	H30年度
図書館の1日あたりの貸出利用者数	人	同左（図書館統計資料）	●	●
1年以内に図書館を訪れたことがある市民の割合	%	「1年以内に図書館を訪れたことがある」と回答した市民の割合（アンケート調査）	●	●



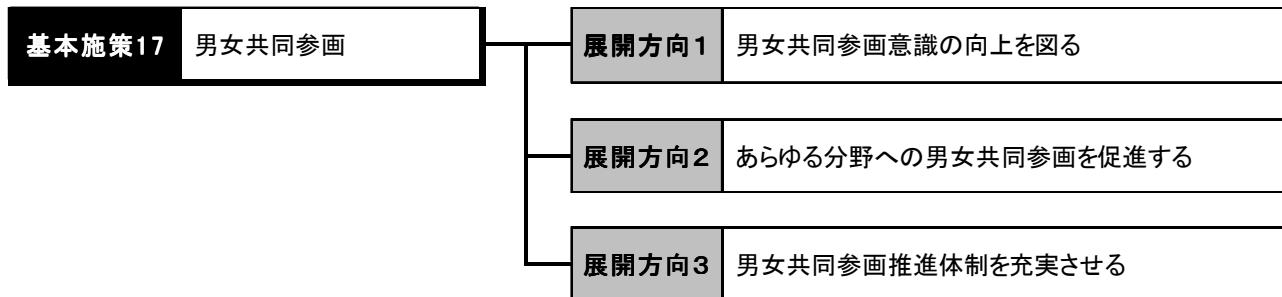
**基本施策 17 男女共同参画**

◆現況と課題

- 小牧市では、平成 15 (2003) 年 4 月に「小牧市男女共同参画条例」を施行し、男女が、互いに人権を尊重しつつ責任も分かち合い、個性と能力を十分に発揮し、あらゆる分野に対等に参画し、性別に関わりなく自らの意思と選択に基づいて自分らしく生きることができる男女共同参画社会の実現を目指しています。【基礎調査報告書 P III-51】
- 近年、小牧市では、男女共同参画に対する意識の高揚や様々な分野への男女共同参画の促進、相談対応や講座開催などを通じた男女共同参画推進体制の充実に努めています。これらの取組の結果、「男女の区別なく活動できていると感じる市民の割合」は、平成 24 (2012) 年度には対平成 20 (2008) 年度比での 4 ポイント増の 60.5%となっています。【棚卸シート「目指す姿の実現に向けた主な取組内容・成果」】
- 男女共同参画社会の実現に向け、今後も引き続き、国や県、関係団体との連携・協力のもと、男女共同参画に対する意識の高揚やより広範な分野への男女共同参画の促進、男女共同参画推進体制の充実に取り組む必要があります。

◆基本施策の目的及び体系

男女がお互いにその個性と能力を十分に発揮することによって、多様性に富んだ活力ある男女共同参画社会の実現を目指します。



◆基本施策の進捗状況を測定するための指標

指標名	単位	指標の説明	実績値	目標値
			H24 年度	H30 年度
男女の区別なく活動できていると感じている市民の割合	%	「男女の区別なく活動できている」と回答した市民の割合 (アンケート調査)	●	●
子育て・介護と仕事の両立のための支援が充実していると感じる市民の割合	%	「子育て・介護と仕事の両立のための支援が充実している」と感じると回答した市民の割合 (アンケート調査)	●	●

## ◆基本施策の展開方向1：男女共同参画意識の向上を図る

## 【目的】

○男女の固定的な性別役割分担意識の解消と男女共同参画への理解を促進します。

## 【手段】

- ①男女共同参画に対する市民意識の変化を継続的に把握します。
- ②各種講座・講演会の開催などを通じた広報・啓発活動及び学習機会を充実します。
- ③子どもの頃からの男女共同参画の理解を促進するために、将来を見通した自己形成ができるような広報・啓発活動を進めます。
- ④各行政区への男女共同参画普及員<sup>1</sup>の配置を推進します。

## 【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	単位	指標の説明	実績値	目標値
			H24年度	H30年度
男女共同参画という言葉の意味を知っている市民の割合	%	「男女共同参画という言葉の意味を知っている」と回答した市民の割合（アンケート調査）	●	●
男女共同参画をテーマとした各種講座・講演の参加者数	人	男女共同参画をテーマとした各種講座・講演の参加者の数	●	●

## ◆基本施策の展開方向2：あらゆる分野への男女共同参画を促進する

## 【目的】

○職場・家庭・地域など、あらゆる場面における男女共同参画の実現を支援します。

## 【手段】

- ①市の審議会などへの女性の登用を積極的に推進します。
- ②ワーク・ライフ・バランス（仕事と子育てや介護などの仕事以外の生活との調和）の普及や、その実現に向けた職場・保育・介護環境の整備を支援します。
- ③情報交換や交流会の開催などを通じ、女性団体間のネットワークを強化します。
- ④経済的に困難な状況にある女性の自立を支援します。

## 【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	単位	指標の説明	実績値	目標値
			H24年度	H30年度
審議会等附属機関への女性の登用率	%	審議会等の女性委員数／審議会等の委員数	●	●
ウイメンズネットこまきの加入団体数	団体	同左	●	●

<sup>1</sup> 男女共同参画意識を高め、各地区で男女共同参画の推進・普及を働き掛けることなどを目的に、平成19（2007）年度から区長の推薦により配置。

## ◆基本施策の展開方向3：男女共同参画推進体制を充実させる

## 【目的】

○男女共同参画を推進するための体制を充実します。

## 【手段】

- ①女性センターを男女共同参画社会実現に向けた推進拠点とし、時代に適応した学習機会の提供や情報の収集・発信を推進します。
- ②女性が抱える人間関係などの悩みを救済するための相談体制を充実します。
- ③女性が長期的な視点でキャリアデザインを描けるよう、キャリア教育を推進します。

## 【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	単位	指標の説明	実績値	目標値
			H24年度	H30年度
女性相談の窓口を知っている女性の割合	%	「女性相談の窓口を知っている」と回答した女性の割合（アンケート調査又は平成26年度実施予定の男女共同参画に関する市民意向調査）	●	●
女性相談でDV相談が受けられると知っている女性の割合	%	女性相談の窓口の中でDV相談が受けられることを知っていると回答した女性の割合	●	●